

2025

3

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

4

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026

1

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

3月4日(火)～5月11日(日)

### 第12回 桜花賞展

The 12th Oka-Sho Award Exhibition



第11回 大賞 竹内唯可《めぐる》2023年

気鋭の現代日本画家たちが、日本美術でおなじみの「桜」という大変難しいモチーフをそれぞれの持ち味を活かし素晴らしい桜の絵画に仕上げたコンペティション形式の展覧会です。作家たちの描く個性豊かな桜花の美しさを、どうぞお楽しみください。



第11回 優秀賞 宮下舞香《春の宵》2023年



紫嵐《深山煙》2023年

5月17日(土)～6月15日(日)

### 第5回 FROM

それぞれの日本画  
The 5th FROM Exhibition



日本美術界で活動してきた作家たちが、研究・挑戦・発表を目的としたグループ「FROM」を結成。「FROM」には、「生まれや学歴はもちろんのこと活動経緯や所属が様々でありながらも同じ意識を持つ作家集団であること」という意味が込められています。所属作家は、押元一敏、川崎麻央、木下めいこ、武田裕子、田島周吾、長澤耕平、野地美樹子、山浦めぐみ（五十音順）の8名。彼らは、日本美術界で連綿と続く伝統を継承しながらも枠にとらわれずに独自の表現を追求し続けています。現代日本画の存在を示した本展をどうぞお楽しみください。

6月24日(火)～8月31日(日)

### コンストラクション

～タテモノとカタチ～  
The Architecture Exhibition



西田俊英《星夜燦々》2001年

建築は、土・木・石・金属など多様な素材を用いて世界各地でさまざまな形態で築かれています。実用性のみならず、歴史や形態の美しさといった多面的な魅力を持つ建築は、絵画においても伝統的なモチーフとして数多く制作されてきました。本展では、国内外の様々な建築に着目して制作された大迫力の現代日本画を展覧いたします。現代日本画ならではの繊細な表現を通して見られる様々な建築美をどうぞご堪能ください。



吉田舟汪《塔聲・日》1990年



村居正之《耀く》2001年

9月9日(火)～11月24日(月)

### 現代鳥獣戯画

The Contemporary Chouju-Giga Exhibition



竹内浩一《戯画釣名人》2009年

「鳥獣戯画」の世界を再解釈した「現代鳥獣戯画」を中心に、動物たちの豊かな表情や動きを、伝統的な日本画の技法で描いた様々な動物画をご紹介します。古典の題目に現代の感性が融合して生まれた新しい「鳥獣戯画」の世界を、ぜひご堪能下さい。



平子真理《Monkey Race》(左隻) 2010年

12月6日(土)～2026年2月15日(日)

Duet / 二人展

### 押元一敏 / 染谷香理

Kazutoshi Oshimoto / Kaori Someya Exhibition



染谷香理《夜昼桜図》2020年

当館では、新たに二重奏を意味する「Duet」と題した二人展を開催いたします。今回は当館所蔵作家から最前線で活躍しており、人気を博す押元一敏 / 染谷香理の二人展を開催いたします。現代日本画は、伝統にもとづきながら、それぞれの作家が独自の表現を追求しています。

押元一敏は、東京藝術大学美術学部デザイン科教授で、個展やグループ展を中心に活躍しています。「静」の表現を探求し、取材に基づいて洗練された独自の表現を追求しています。染谷香理は、院展では日本美術院特待として活躍しています。「ハレ」と「ケ」という概念を取り入れた人物画・花鳥画を描いています。それぞれの作品の魅力を引き立て合うハーモニーのような展覧会をどうぞご堪能ください。



押元一敏《山神神代桜》2022年

### 桜のコレクション「桜百景」展

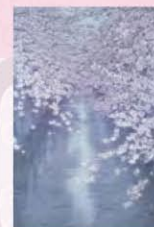
100 Views of Sakura 'Scenes of Cherry Blossoms' Exhibition

### 満開の桜のお花見ができます

桜の作品を展示する「桜百景」は、桜の名所である目黒川のほとりに位置する当館へお越し頂いた皆様に、「お花見」を楽しんで頂くための展示室となっております。全国の桜の名所・名木を描いた作品を、企画展のテーマに合わせてご紹介いたします。



中島千波《櫻雲の目黒川》2013年



伊達良《さくら川》2013年